



浙江游学

商务印书馆
国际有限公司

出品：浙江省文化和旅游厅

审订：世界汉语教学学会

编写：《汉语世界》杂志社

日语翻译：王琳晓

日语审订：一澤美帆（日）

作成：浙江省文化観光庁

審査：世界漢語教學學會

編集：『漢語世界』雑誌社

翻訳：王琳曉

審査：一澤美帆（日）



目次

1 山 02

05 頂上の詩人:天台山

2 水 08

11 文学の湖
14 川下り、京杭大運河
16 川波のうねり

3 人 18

21 デジタルのパラダイス
24 烏鎮:水郷・文化・ハイテク
25 カラスの祝福:義烏国際貿易
センター
27 全村協力:余村の生態転換

4 文 30

33 良渚文化:玉に刻まれた物語
34 絹織物文化
36 西施と勾踐:美人と王
38 紹興:文学水郷

5 楽 40

43 浙江グルメ
46 龍井伝説
49 伝統芸能:越劇

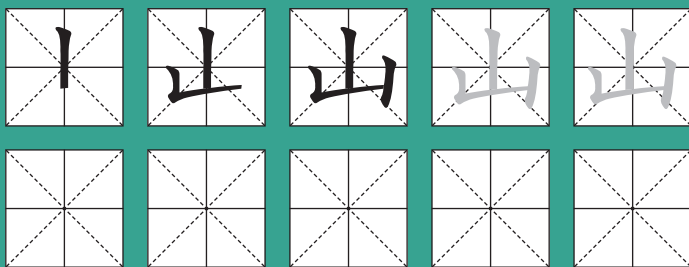


1

山

shān

山



単語

普陀山	Pǔtuóshān	普陀山
爬山	páshān	山登り
山顶	shāndǐng	頂上
假山	jiǎshān	築山
山楂	shānzhā	サンザシ
山路	shānlù	山道
山泉	shānquán	山泉
山洞	shāndòng	洞窟

会話

A: 休みに山登りに行きましょ
う！

Jiàqī zánmen qù páshān ba!

假期咱们去爬山吧！

B: いいですね。前から天台山が
綺麗だと聞いていますが、そ
こに行きましょう。

Hǎo a, zǎo jiù tīngshuō Tiāntáishān
hěn měi, jù qù nàr ba.

好啊，早就听说天台山很
美，就去那儿吧。

A: ホテルの前の築山を見まし
たか？

Nǐ kàndào jiǔdiàn ménkǒu de
jiǎshān le ma?

你看到酒店门口的假山了
吗？

B: 見ました。築山の上の滝も面
白いです！

Wǒ kàndào le. jiǎshān shang
de pùbù yě hěn yǒu yìsi!

我看到了。假山上的瀑布也
很有意思！

A: 運転手さん、公園の入り口ま
であとどれぐらいですか。

Shīfu, qǐngwèn dào
gōngyuán ménkǒu hái yǒu
duō yuǎn?

师傅，请问到公园门口还有
多远？

B: 遠くありません。この山道を
左に曲がれば見えてきます。

Bù yuǎn, guò le zhè duàn shānlù
zuǒguǎi jiùnéng kàndào le.

不远，过了这段山路左拐就
能看到了。

A: 西湖龍井はどう入れたらおい
しいですか？

Xīhú Lóngjǐng zěnmē
chōngpào gèng hǎo hē?

西湖龙井怎么冲泡更好喝？

B: 山泉でお茶を入れればもっと
おいしいと聞いています。

Tīngshuō yòng shānquánshuǐ
pàochá gèng xiāngtián.

听说用山泉水泡茶更香甜。



四字熟語

开门见山 kāimén-jiànshān
单刀直入

字源



甲骨文



金文



小篆



楷書

甲骨文は3000年ほど前の最も古い漢字である。“山”の字は象形文字で、三つの峰を表しており、簡略化されて三本の縦線になった。中国の広い土地には、山々が連なり、浙江省の普陀山（ふださん）は中国四大仏教名山の一つである。風景の綺麗な普陀山は旅行にはもってこいの場所である。

■ 頂上の詩人:天台山

唐代(618-907)は、中国の古典文学の黄金時代であり、天台山は道士や仏教徒、隠者の間で一世を風靡した。

詩人、僧侶、隠者、芸術家、文人たちが浙江省東部の山脈に殺到し、雲霧に包まれた峰と洞窟を訪れることを大切な行事と見なされた。詩人の元稹(げんしん)は「相逢又説向天台(出会う度に、また修行で天台に向かっていると言う)」という詩の一句を書いた。当時の詩人たちによって天台山の雄大な神秘を描いた詩が1200首余残された。

今日の観光客にとってラッキーなのは、浙江省が地元の詩歌文化をさかのぼるプロジェクト「詩の道」に乗り出したことである。この命題は、まるで宝探しゲームのようである。例えば、後に、ジャック・クルアック、ゲーリー・スナイダーとアメリカの「ビート・ジェネレーション」の精神的アイドルになった寒山のような隠者は天台山に数百句の詩を刻んだのである。

学者の安祖朝は天台山を唐詩の「富鉱」と呼んだ。元歴史教師として、彼はよく学生に古詩が刻まれた石刻を見学させた。それには李白がかつて描いた天台山の北延である天姥山も含まれている。「夢遊天姥吟留別」詩の中で李白は、「千巖萬轉して路定まらず(岸壁はうね

りうねって山路は定まらず)……青冥浩蕩として底を見ず(青々としていて底が見えない)……忽ち魂悸(おどろ)き以て魄動き(急な動悸がして、恍惚とする)」と詠んでいる。

30年の研究を経て、安祖朝は現存する5万首近くの唐詩を読み、実に44首に1首が天台山に言及しているという信じられない結論を得た。そして彼は2018年に『天台山唐詩総集』を出版した。地元紙のインタビューで同氏は「私は天台の詩意文化を表現し、それを人々に懂れさせたいです。」と語っている。

天台山を探索する最初の地点である国清寺は、中国で最も重要な仏教寺院の一つである。高い山と峡谷の高台に点在する建築群は、600軒以上の家屋、堂宇、庭園で構成され、五つの軸線に沿って配置されている。国清寺は598年に建てられ、清朝で再建された。

国清寺は仏教史において非常に伝説的な寺として、仏教の宗派である天台宗の誕生の地でもある。何世紀にもわたり、東アジア各地の信者が仏法を求めてこの寺にやってきて、学んだことを母国に持ち帰り、7世紀の日本や11世紀の朝鮮に新しい仏教の枝を広めていった。

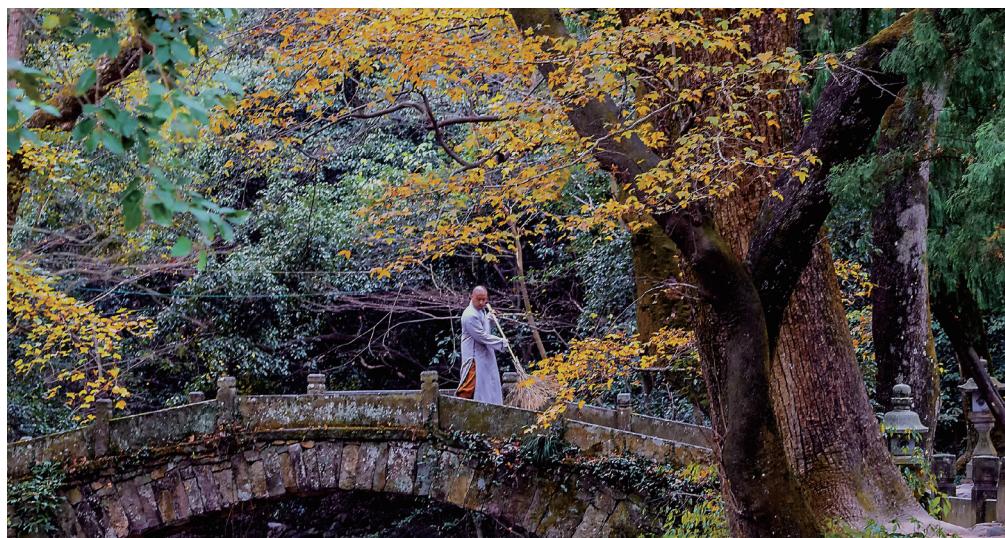
国清寺の文化の至宝には石刻、経書、書画、木彫、玉飾、仏像、梵字古巻など

がある。石造りの庭園を歩いていると、黄灰色の僧衣を着た修行僧が通る。建てられてから1400年余りも過ぎた今も現役の聖地である。

国清寺の台所は詩人寒山の仲間である拾得の旧家と伝えられている。寒山は拾得と一緒に国清寺付近の溪谷を遊逸し、厳しい修行のスケジュールを軽んじて、自然の中に純粋な喜びを求めたと言われている。後世の画家の絵の中で彼らは、ぼろぼろの服を着て、髪をふり乱し、大笑いしている姿で描かれている。寺院周辺では、石梁飛瀑や寒山湖が有名である。

現在、観光客は天台山で何世紀にも

わたる文学の奇才と名人の足跡をたどることができる。だが、寒山が30年以上も隠れ住んだ洞窟は、いまだに見つかっていない。しかし、彼の詩の中に手がかりを得ることができるだろう。「人は寒山の道を問うも（世の中の人々は、寒山への道（寒山道）を尋ねるけれど）、寒山には路（みち）通ぜず（寒山へ通じる道（寒山路）など、もともとありはしない）……君が心若し我に似たれば（だがもし、君の心が私と同じようであるならば）、還（ま）た其の中に到るを得ん（この世界（其中）に入り込むことができるだろう）。」



浙江五名山

莫乾山

毎年夏になると、多くの著名人や新興の富裕層がやって来て、莫乾山の緑豊かな涼しい谷で避暑をする。ここには127平方キロメートルの竹林と、200あまりの別荘があり、毛沢東や蒋介石もここに滞在したことがある。



普陀山

中国仏教四名山の一つで、舟山群島にある普陀山には30余りの寺があり、歴史の長い普済寺、法雨寺、慧済寺などが含まれている。毎年何百万人もの信者が普陀山に集まり、観音菩薩の誕生日を祝っている。

江郎山

明代の地理学者、徐霞客が江郎山を3度訪れ、「奇抜」、「険しい」、「神秘」などの言葉で当地の丹霞地形を表した。今は

「雲の中に育つ超高層ビル」と呼ばれている。2010年、中国丹霞の中の一つである江郎山は「世界自然遺産」に登録された。

天目山

天目山の「天目」を直訳すると「空の目」となり、東西両峰の山頂付近にある二つの池が由来である。それらは枯れもせず、光と雲を反射している。天目山はユネスコ生物圏保存地域に指定されており、ここには天目柳とその他の2000種類以上の植物があるだけでなく、50種類

以上の保護動物の生息地でもあり、その中には雲豹と黒鹿が含まれている。

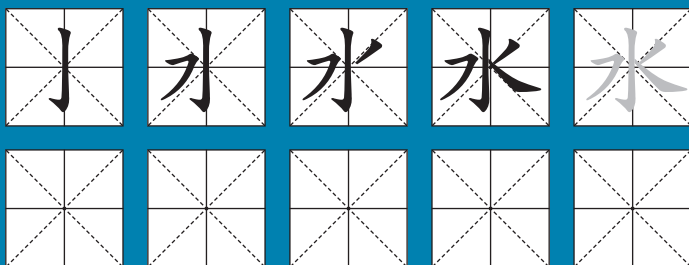
鳳陽山

長江デルタ地域の最高峰である、標高1929mの鳳陽山の黄茅尖に、登山愛好家たちは登ることができる。登山の難易度は高くなく、風景は秀麗である。約1000年の古木の森から登り、山と草原を過ぎ、春にはツツジが広く咲く。頂上で日の出と日の入りを見る時は、金色の雲海が山々を囲むことが多い。

2

水

shuǐ
水



単語

水果	shuǐguǒ	果物
热水	rèshuǐ	お湯
泪水	lèishuǐ	涙
喝水	hēshuǐ	水を飲む
水墨画	shuǐmòhuà	水墨画
浇水	jiāoshuǐ	水やり
潜水	qiánshuǐ	ダイビング
水晶	shuǐjīng	水晶

会話

A: なにか果物を買いましょうか。

Zánmen mǎi diǎn shuǐguǒ ba.

咱们买点水果吧。

B: いいですよ。ホテルの近くにスーパーがあるので、行ってみましょう。

Hǎo a, jiǔdiàn fùjìn yǒu chāoshì, kěyǐ qù kànkàn.

好啊，酒店附近有超市，可以去看看。

A: あら、花に水やりを忘れてしまった！

Āiyā, wǒ wàng le gěi huā jiāoshuǐ le!

哎呀，我忘了给花浇水了！

B: 大丈夫よ。毎日やる必要はないよ。半月に1回でいいよ。

Méishì, bù xūyào měitiān jiāoshuǐ, bàn gè yuè jiāo yí cì jiùxíng.

没事，不需要每天浇水，半个月浇一次就行。

A: 飲み物を買に行きますが、何か飲みたいものはありますか。

Wǒ qù mǎi yǐnlào, nǐ xiǎng hē shénme?

我去买饮料，你想喝什么？

B: ありがとうございます。水でいいです。

Xièxiè, búyòng le. Wǒ hē shuǐ jiù xíng.

谢谢，不用了。我喝水就行。

A: なんで泣いたの？

Nǐ zěnmē kū le?

你怎么哭了？

B: 感動の涙よ。白娘と許仙の恋物語に感動させられたの！

Zhè shì gǎndòng de lèishuǐ, Bái Niángzǐ hé Xǔ Xiān de àiqíng gùshi tài gǎnrén le!

这是感动的泪水，白娘子和许仙的爱情故事太感人了！



四字熟語

五湖四海 wǔhú-sìhǎi

津々浦々

字源

甲骨文

金文

小篆

楷書

甲骨文で“水”は一本の曲線とそれを取り巻く四つの短い線で構成される。“水”を表すさんずい“氵”は、形が流れる水に似ていて、多くの漢字に使われている。例えば、江(jiāng)・河(hé)・湖(hú)・海(hǎi)など。浙江省で最も有名な観光スポットである杭州（こうしゅう。広州と区別するために「くいしゅう」と呼ばれることもある）の西湖はロマンチックに溢れる神秘的なところで、心が動かされる恋物語が広く伝わっている。

■ 文学の湖

杭州の西湖は数世紀の間、詩人、画家、小説家たちのインスピレーションの源であった。この49平方キロメートルのユネスコ世界遺産には数多くの塔、寺、橋、島(自然のものもあれば、人工のものもある)が含まれ、神話、伝説、歴史の息吹に満ちている。

西湖の運命は隋代(581-618)から始まる。中国東部のさまざまな水路が大運河に連結され、杭州と西湖がその最南端の終着点となった。

西湖の本格的な黄金時代は南宋(1127-1279)から始まった。南宋の高宗は杭州を「臨安」と称して都と定めた。高宗は皇城内および周辺都市の建築と景観の計画に多くの時間を費やした。この芸術的才能を持った皇帝が杭州で最も立派な宮殿建築を監督した。これらの建築は優美で独特であり、南宋の建築芸術を代表している。

都としての臨安は数多くの才能ある学者、作家及び芸術家を惹きつけ、湖を

モチーフとした山水画を多く生んだ。画家や詩人は、湖の美しさをとらえ、人と自然の調和を表現しようと努力した。

そんな中、「西湖十景」という表現が登場し始めた。これらの美しい景色は単なる観光地ではなく、12世紀の審美的伝統に根付き、中華文明の中で最も優れた文学や芸術作品にインスピレーションを与えてくれた。

その十景の一つ目は「蘇堤春曉」である。「蘇堤」は湖を横断するような人工の堤防で、11世紀の詩人・官僚である蘇軾の名を冠した。杭州の在任中、蘇軾は西湖を浚渫し、20余万人の労働者に雇用を提供した。蘇軾のおかげで、杭州は中国や世界の他の都市から抜きんできた存在となった。高度な都市レベルを持ちながら、都市生活と自然も融合していた。

南宋時代の臨安は文化が活気にあふれていたにもかかわらず、1276年に突如フビライの軍隊が来て、都としての



地位を終わらせることになった。しかし、この王朝が残した建築、詩歌と文化の伝統は今日まで続いている。マルコ・ポーロはこの征服された国を訪問したことがある。新しく建国された元朝は南宋が西湖の山水の享楽に溺れて国を滅ぼしたと考えて、修繕を行わなかった。

1503年になって、明(1368-1644)の

楊孟瑛という官僚が西湖を救った。彼は大規模な浚渫と周辺の観光地の修繕工事を行った。有名な蘇堤は補強され、柳や桃が植えられた。彼の下で、蘇堤と平行するもう一つの堤防「楊公堤」が建設された。今ではこの3.4kmの小道を歩いて、湖沿いにある個々の観光スポットを巡ることができる。



「西湖十景」は南宋の崩落によって一時的に姿を消した。4世紀が経った後、清朝(1616-1911)の康熙帝は西湖に大きな興味を持ち、書作で活気づけた。西湖十景のいずれにも康熙帝の御書碑が残されている。彼の孫である乾隆帝は十景それぞれに1首の詩を書いた。今日の観光客は、「平湖秋月」(三面を湖に

囲まれ、お月見に絶好の場所)や「雷峰夕照」(白蛇が鎮圧されたと伝えられる場所)など、これらの象徴的な観光スポットを訪れることができる。

現在、西湖は再び繁栄し、またよくメンテナンスを行い、中国の最も重要な文化と歴史の中心の一つになり、最も人気のある観光地の一つでもある。

■ 川下り、京杭大運河

拱宸（Gongchen）橋のアーチを守護する四体の夔蜥（バシャー）像は、中国神話の龍の子で、少し緊張した様子である。

京杭大運河を通して杭州に出入りする時、このような石の彫刻は船が橋にぶつからないようにする機能を持っていることを考えると、これは自然なことである。数世紀以来、バシャーは中国の最も偉大な都市の一つである杭州を起点と終点とする貿易往来を目の当たりにしてきた。

かつて世界経済の心臓部であった大運河は北京から浙江省まで約1800キロメートルに及んでおり、1400年以上前の中国の南北融合を牽引してきたといえる。どこへ行っても繁栄と交流をもち、杭州はその最も重要な中継地である。

杭州は605年以前、人口わずか15000人の無名の町であった。610年に京杭大運河が竣工したとき、杭州は迅速に国際的な大都会として発展した。紀元8世紀の唐時代中期までに、杭州には

すでに3万余りの店舗があり、運河に停泊している船は十数キロにわたって続いていた。

現在は、武林門棧橋から運河遊覧船で30分で拱宸橋に到着する。その道中には伝統建築と現代的な高層ビルが建ち並んでいる。

大運河の最初の部分は紀元前5世紀に中国の北方で開削されたものである。とはいえ、杭州の運河南段の終点は、1000年後の隋の時代によりややく完成された。残虐で有名な隋の煬帝は、わずか4年間で数百万人の労働者を使っ

て、2000キロの運河を完成させた。記録によると、労働者の4/10が重労働で死亡していた。

1280年代に、マルコ・ポーロは杭州の大運河を訪れた。「大きな運河がある。広場に繋がる川のほとりには巨大な石の小屋があり」「どの広場にも週に3日の市が立って、そこには4万、5万人もの人がやって来て、生活に必要なものを全部持ってきて売っているんです」と、このベネチア出身の観光客は書いている。

遊覧船の終点である拱宸橋は、19世紀には主要なフェリー乗り場であり、周囲の古い建築物はそのまま保存されており、白く塗りつぶされた路地の中には手工芸の展示館があり、扇子、傘、刀、はさみなど伝統的な手工芸を

展示しているのが、ディスプレイは近代的である。

大運河は2014年、ユネスコの世界遺産に登録された。1000年の歴史を経ても、まだ浙江、江蘇、山東を結ぶ貨物航路である。

大運河沿いを散策するなら、小河直街へ。この街は唐宋時代には賑わっていた郊外だったが、20世紀には本格的な商業の中心地になった。

現在でも、20世紀初頭の「先住民」の家があり、鍛冶屋や精米工房が点在し、青い江南瓦に彩られている。通り沿いのカフェに座って、素晴らしい伝統文化を思い出しながら、悠々とした川のの流れを見るのも楽しい。





■ 川波のうねり

銭塘江の波は7世紀から今日まで全国各地からの観光客を引きつけている。雷鳴のように鳴り響き、何千頭もの馬が地平線を疾走してくる、というような表現がよく使われる。銭塘江は浙江最大の川で、特に杭州の中部から杭州湾の間の部分を指す。昔の名は「浙江」で、「曲がりくねった河」という意味から、浙江省と名づけられたのである。

鐘型の杭州湾に潮の満ち引きの力が加わり、浙江の「母なる川」に、世界最大の潮流の一つを形成している。しかし古代、銭塘江の潮流は邪悪な川の神によってもたらされたと考えられていた。伝説によると、9世紀に、呉越王の錢鏐（Qianliu）が一軍を率いて江岸に赴き、

激しい波に3000本の矢を射て川神を破滅させた。今日、杭州の西湖近くにある錢王祠の近くには、この威圧的な統治者の像が高くそびえている。弓矢を手にしていて、いつでも町を守ろうとしているかのようである。

川をさかのぼれば、静かな富春江にたどりつく。川沿いの美しい景観は名所として知られ、14世紀の画家、黄公望がインスピレーションを得て、7メートルにも及ぶ『富春山居図』を描いた。その半分は浙江省博物館で展示されている。黄公望は当時、元朝モンゴル人の支配に挫折を感じ、故国の昔の輝かしい歳月を懐かしんだが、自然を描く中で慰めを見つけたのである。

海辺で

舟山群島

舟山群島は1390個の島々からなり、フェリーで結ばれている。中にはトレンドに敏感な人が好んで訪れる東極島があり、2014年のロード映画『后会無期』のロケ地になった。また、誰も住んでいない鳥類保護区の五峙（オチ）山列島もある。中国仏教の名山の一つ、普陀山もここにあるし、東海音楽祭の開催地である朱家尖島もここにある。

嵎（ジョウ）山島

嵎山島は中国最東端の島と自称している。島に後頭湾村があったが、住民たちは次々とより便利な島へ移住し、今では自然が再びここの支配者となった。嵎山島は嵎泗列島に属している。舟山付近の険しい地形の諸島に、辺鄙な漁村と田舎の美しい風景が散在している。

洞頭紅石灘

温州の浜辺にある紅石灘に多くのカメラマンが押し寄せ、満潮時、荒れ果てた岩礁に朝霧が立ち昇る様子をとらえていた。これらの巨石は微生物によってサビのような色に染まり、日の出と日の入りの時にとりわけ鮮やかに見える。

石浦漁港

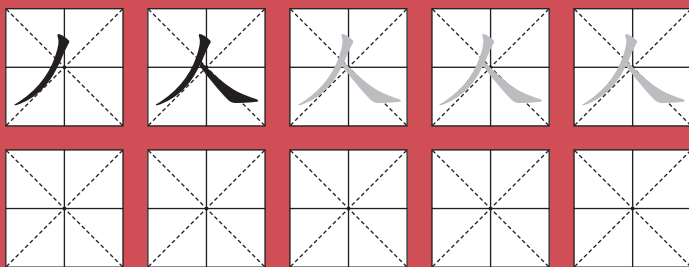
寧波象山県石浦漁港は浙江最大級の漁港の一つで、毎日の夜間には市場が開かれ、新鮮な魚介類がその場で味わえる。隣接しているのは600年の歴史を持つ町並みで、古い寺、城壁、伝統的な民家があり、文化が好きな方にはお勧め。



3

人

rén
人



単語

家人	jiārén	家族
诗人	shīrén	詩人
好人	hǎorén	親切な人
人才	réncái	人材
迷人	mírén	魅力的
人工	réngōng	人工
机器人	jīqìrén	ロボット
人生	rénshēng	人生

会話

A: この通りは黒山の人だかりだね。

Zhè tiáo jiē shang zhēnshì
rénshān-rénhǎi!

这条街上真是人山人海!

B: 杭州一の商店街だから。

Zhè shì Hángzhōu zuì fánhuá
de shāngyèjiē ma.

这是杭州最繁华的商业街嘛。

A: お客様、これはお客様のパス
パートですか。

Xiānsheng, zhè shì nín de
hùzhào ma?

先生，这是您的护照吗？

B: はい、ありがとうございます。
親切ですね。

Shì wǒ de, xièxie nín, nín
zhēnshì ge hǎorén.

是我的，谢谢您，您真是个好
人。

A: そのホームページのカスタマ
ーサービスはどうですか。

Nàge wǎngzhàn kèfú
zěnmeyàng?

那个网站客服怎么样？

B: 人工サービスもロボットサ
ービスもいいです。

Réngōng kèfú hé jīqìrén kèfú
dōu búcuò.

人工客服和机器人客服都
不错。

A: アリババは人材を募集してい
ます。

Ālǐbābā gōngsī zhèngzài
zhāopìn réncai.

阿里巴巴公司正在招聘
人才。

B: 私も応募してみたいです。

Wǒ yě xiǎng qù shì yí shì.

我也想去试一试。



四字熟語

人山人海 rénshān-rénhǎi
黒山の人だかり

字源

甲骨文

金文

小篆

楷書

甲骨文で“人”の字は腕を下げて横向きで立っている人の姿に似ている。この形が筆画的になり現在の字形になっている。浙江省はすぐれた人材が多く集まる地方で、現在に至るまでに、書画家の趙孟頫（ちょう もうふ）、作家の魯迅、科学者の屠呦呦（と ゆうゆう）、現在では企業家の馬雲など、様々な分野のリーダーが輩出されてきた。

■ デジタルのパラダイス

もしEコマース大手アリババの創設者である馬雲(ジャック・マー)氏がほかの都市で生まれたなら、裸一貫で起業するという話はおそらく起こらなかっただろう。この伝説的な起業家は、「杭州はアリババの楽天地である」「杭州がなければ、アリババはない」と書いている。

浙江省の省都杭州は、馬雲のアリババグループの代名詞になっている。ここは中国のデジタル産業のテクノロジーハブであり、このイノベーションの波に乗って、中国で最も裕福な都市の一つになった。杭州には今、インターネットやゲーム企業のネットイース(“網易”)や、世界最大の監視カメラサプライヤーであるハイクビジョン(“海康威視”)など、アリババの動向を追う数多くのテクノロジー企業がある。

2018年、杭州市政府は、同市を全国のデジタル産業中心地にしようとする五カ年計画を発表した。デジタル経済は現在杭州のGDPの1/4以上を占めている。

杭州の継続的な繁栄(2019年、杭州の経済成長率は6.8%)の大きな要因は、馬雲がアリババの本部をこの都市に置いたことである。杭州の西溪湿地帯にあ

るこの広大なオフィスパークは馬雲電子商取引帝国の中樞神経系であり、パークには従業員が約22000人もいる。

馬雲の物語は、彼の浙江の同胞たちが起業を考えるのを励まし続けた。馬雲は1964年9月10日生まれ、両親は芸能関係者。13歳の時、彼は杭州にきた外国人観光客の案内を始めた。9年間、苔の生えた小路に沿って杭州飯店、現在のシャングリラ飯店へ行き、英語を学び、その代わりに伝説と歴史が息づくこの町を案内してあげた。

馬雲は大学の英語学科を卒業後、30以上の仕事を探したが、杭州最古のKFCを含むすべてに断られた。1999年、彼は17人の友人と一緒に杭州の自宅マンションでアリババを始めた。当時は今日のことを誰も思いつかなかったが、彼らは新たな杭州伝説を作り出した。

2014年までに同社はニューヨーク証券取引所に上場を発表したことに伴い、ニューヨーク証券取引所のスーパースターになったことから、20カ国以上で1億人近くのユーザーを擁し、世界中で1兆元以上のオンライン取引が行われた。その年の9月に上場した後、25兆250億ドルの資金を調達し、史上最大のIPO記



録を打ち立てた。会社は引き続き急速に（おそらく世界で最も速いスピードで）発展しており、娯楽、映画、スポーツなどの分野で投資を行っている。

2019年、アリババグループの所得は700億ドルを超え、新型肺炎による被害を受けたが、クラウドコンピューティング、人工知能、金融テクノロジーなどの分野にも拡大を続けていることから、同社の将来は明るいと言える。馬雲は

2020年に会長を辞任し、慈善事業に専念している。馬雲はアリババが2101年まで続くことを望んでいる。そうすると、彼が創造した事業は3世紀にも及ぶと宣言することができる。

馬雲も彼の設立した会社も杭州に根を張っていることを忘れない。馬雲氏が言うように、「この都市がアリババをつくったのである」。

すべてはアリババグループに

1999年の創業以来、アリババは世界最大級のデジタル企業に成長した。アリババとそのパートナーは、モバイル決済、タクシー、デジタル通貨、自転車シェアリング、人工知能研究などの分野に広がった。

●**Alipay**: 2004年に導入されたモバイル決済システムでは、消費者は携帯電話を使って、QRコードを通じて支払い、買い物をすることができる。顔認識による支払いは2017年に導入され、2018年時点で同ブラッ

トフォームのユーザー数は8億7000万人である。2020年に新型コロナウイルスに対応するための健康コードシステムも開発した。

●**淘宝 (タオバオ)**: 世界最大の電子商取引のプラットフォーム。中国では、ほとんどすべての携帯電話に淘宝APPがインストールされている。淘宝は消費者向けのショッピングサービスを提供しているので、誰でもネットショップを開設できる。毎年11月11日に「独身ショッピング祭り」が行わ

れ、2019年の売上は2684億元に達している。

●**盒馬鮮生(Freshippo)**: 略称は「盒馬」で、アリババの「新規小売」のスーパーマーケットブランドである。オンラインとオフラインをシームレスに組み合わせたショッピング体験を提供するのが狙い。「スマートショッピング」では、顧客が食料品をオンラインや店舗で注文して、30分以内に配達することができる。肉や魚介類などを購入して店内で調理してもらって食べることもできる。





■ 烏鎮：水郷・文化・ハイテク

省都の杭州から約80キロ北にある烏鎮（ウチン）は、古い水郷の町並みで、石橋や明代の古い建物、および曲がりくねった河道で構成されている。烏鎮は、「東洋のベネチア」と呼ばれ、縦横無尽に交差する水路を船に乗って堪能することができる。

長い歴史があるにもかかわらず、烏鎮はより現代的な一面、つまりアバンギャルドなアートとテック創業センターとして知られつつある。2014年以降、烏鎮は世界インターネット大会を主催し、アップルの最高経営責任者Tim Cook氏をはじめとする世界各国のリーダーやテクノロジー大手らを招いて、デジタル世界の未来を目指している。

また、世界初の「5Gスマートタウン」

を目指して、同技術を消防から教育まで幅広く取り入れようとしてる。2019年のインターネット大会の期間中、ゲストはどこからでも5Gの自動運転バスで移動できた。これらの無人バスは、今後全市110平方キロメートルのエリアで運行する。

烏鎮は中国の歴史上でも重要な文化中心であり続けている。現在、多くのアートギャラリーが定期的に展覧会を開催している。例えば、木心美術館では、主に烏鎮で生まれた作家・画家である木心の作品を展示している。1年に1度の烏鎮演劇フェスティバルは、屋外カーニバルを含む伝統的かつ現代的な公演芸術の祭典である。

■ カラスの祝福:義烏国際貿易センター

紀元前1世紀、浙江省がまだ辺境だったころ、顔烏という若者が父親と貧しい暮らしをしていた。ある日、顔烏は道端に怪我をしたカラスがいのを見つけて家に連れて、元気になるまで面倒を見た。

数年後、顔烏の父は亡くなった。葬式を负担できなかった顔烏は、自ら父の墓穴を掘ることにした。彼は3日3晩穴を掘った後、疲れ果て、悲しみに沈んだ。そこへ急にカラスの群れが現れ、顔烏を助けてくちばしで墓穴を掘った。親孝行の顔烏と忠実なカラスの話が広まり、「烏傷」(カラスの哀れ)や「烏孝」(親孝

行なカラス)と呼ばれ、のちに「義烏」(忠実なカラス)へと名前が変わった。

カラスの群れは良い兆候には見えな
いが、幸運の女神は義烏に微笑み続
けている。義烏は金華市に所属する県級市
で、浙江省中部の山間地区に位置し、耕
地が不足しているため、歴史上ずっと貿
易で生計を立てている。義烏の本格的
な飛躍は1982年に始まった。改革開放
後、18世紀に始まった卸売市場が再び
開放され、ついに世界最大の商品市場、
義烏国際貿易センターとなった。

現在、義烏は軽工業製造業や消費財

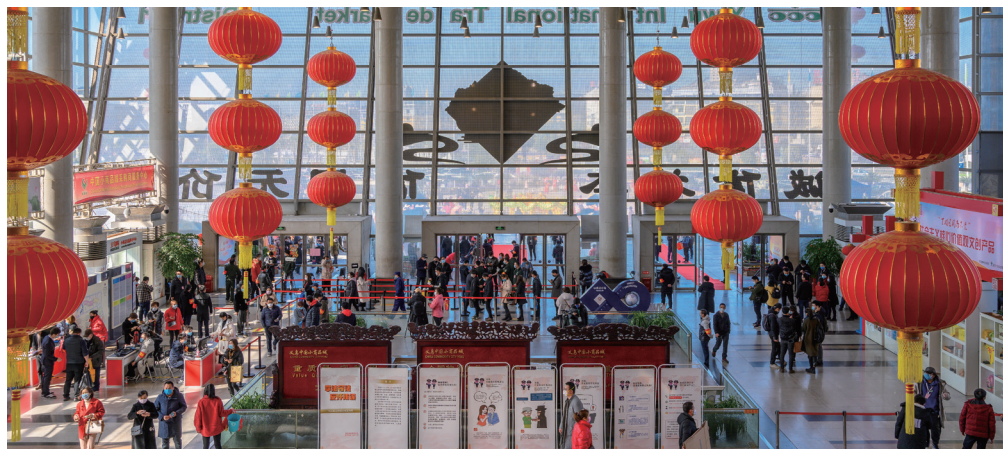


の地域貿易中心となっており、多くの国際ビジネス関係者の行き先でもある。この3平方キロメートルの市場には、アジア、中東、ヨーロッパ、アフリカからのバイヤーが毎日20万人も受け入れられている。服や小物がぎっしり詰まったスーツケースを故郷に持って帰る人もいる。義烏には、およそ13000人の永住外国人が定住し、商業貿易やビジネスコンサルタント、インターナショナルスクールの教師や小企業の経営者などの職業に従事している。

世界206カ国・地域の消費財サプライヤーとして、小さな義烏は世界全体に影響を及ぼしている。中国では「クリスマス村」と呼ばれ、世界のクリスマス装飾の約60%がこの街の周囲の600個の工場や作業場で生産されており、その多くは一年中赤いスパンコールが散乱して

いる。世界中の商品の価格変動を反映した「義烏指数」が政治的追い風にもなっている。現地の企業経営者が、2016年米大統領選におけるドナルド・トランプ氏の勝利を予測したのは、地元が同氏を支持するキャンペーングッズを大量に輸出していたためだという。

観光から見れば、義烏は浙江のほかの都市ほど有名ではないが、国際的な雰囲気で見知らぬ観光客を驚かせている。ここには異国の多種多様な美食やすばらしい夜遊び生活があり、異なるコミュニティでは多種の異なる言語を聞くことができる。この都市は施設が整っており、毎年十数回の国際貿易展示会が開かれる。また、稠州北路の夜市では、小商人たちが道端の喫茶店の前でパイプを吸い、ご馳走を食べることが、義烏でしか見られない風景である。





■ 全村協力:余村の生態転換

潘春林はもう白いシャツを着ない。1990年代、彼は余村にある鉱山の荷役人だった。「朝に白いシャツを着て出かけても、夜に帰ってくると、白目だけが白いです」と人民網の記事で彼は回想している。「母は、色の薄いシャツを買わないでくれ、私はあなたの洗濯を手伝わないからと言っていた」。

1990年代、余村の村民は県で最も富裕で、彼らは3箇所の採石場、3箇所のセメント工場、1箇所の石灰窯、1箇所の製紙工場と1箇所の化学工場を開設した。前出の潘氏は、毎日70から80台のトラクターが往来していたと回想している。しかし、村の街道や川には煙やほこり、下水があふれていて、多くの村人が病気に

なっていた。

2005年、目の前の経済的な利益が損なわれても、村の政府はこれらの企業を一つずつ閉鎖することにした。これは後に「エコガバナンスの奇跡」と呼ばれる。その余村の変化に当時の浙江省書記だった習近平氏は注目し、その年にこの村を視察し、「緑の水と青い山は金山銀山のような宝の山に匹敵する」というエコスローガンを提出した。今そのスローガンは人々に広く知られている。

余村は鉱物の代わりに、山の鬱蒼とした自然美で観光客を集めている。観光客が目にしたのは驚くべきパノラマで、村の背後に緑の丘がそびえ立ち、街の中を

川が流れている。農家に泊まって、村の古いイチヨウや畑に広がるヒマワリを楽しむことができる。監督李安氏のアカデミー賞受賞作、武侠映画『臥虎藏龍』の中で、余村周辺の竹林は、心が震える映画の背景を成した。2012年に、余村は「国際連合人間居住賞」に選ばれ、2020年には中国の「ビューティカジュアルビレッジ」の一つに選ばれている。

余村は山と水に恵まれ、持続可能な発展の卓越した業績をあげた。15年が経ち、村人たちは今まで以上に上質な暮らしを享受し、環境保護に力を注いでいる。潘氏は、「今、私たちは着たいものがなんでも着られる」と冗談を言った。

ようこそ、四つの浙江村へ

江山市和睦村

和睦村は4000年以上の歴史があり、村の玉石街道の両側にたくさんの陶芸工房があり、伝統的な陶芸の故郷として、現在もなお栄えている。現地に出土した古陶芸からインスピレーションを受け、見学者は工房と陶窯を見学するだけでなく、自ら手を動かして陶



芸を学ぶこともできる。村の中には明代の石の鳥居や、清代と20世紀初頭の伝統的な民家が保存されている。

衢州市開化県金星村

「黄金の星」という意味の金星村は、村にある樹齢1000年のイチヨウの木に由来すると考えられている。自然あふれるこの村には、500メートルもの長い並木道があり、道沿いに赤提灯が飾られている。霧に

包まれた山々とそこを流れる馬金溪は美しい山水画のようである。

金華市武義県俞源（ユイアン）村

別名は「太極星象村」で、明の時代に開国大臣の劉伯温が設計したもので、村の建築と景観は、古代の星相図の中の「黄道十二宮二十八星宿」にかたどって並んでいる。民家や橋の建築にもこだわりがあり、れんがや石の彫刻も精巧で美

しい。

温嶺市石塘鎮小箬村

2017年、地元当局は、この小さな漁村の塀を青、ピンク、オレンジ、黄色のカラフルな色で塗りつぶすというアイデアを思いついた。それ以来、写真家とブロガーがこの「レインボービレッジ」を続々と訪れている。ここは「中国のサントリー二島」とも呼ばれ、海を遠望する雅な玉石小径にはカフェやタピオカ屋が立ち並ぶ。

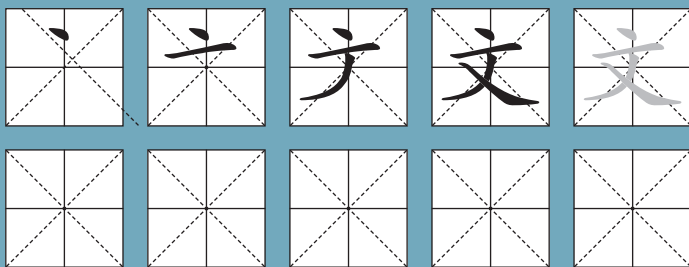


4

文

wén

文



単語

文化	wénhuà	文化
文件	wénjiàn	書類
中文	Zhōngwén	中国語
文物	wénwù	文物
文房四宝	wénfáng sì bǎo	文房四宝
文静	wénjìng	おっとり
论文	lùnwén	論文
文章	wénzhāng	文章

会話

A: 何をしているの？

Nǐ zài máng shénme?

你在忙什么？

B: 同僚から送られた書類を処理しています。

Wǒ zài chǔlǐ tóngshì fāgěi wǒ de wénjiàn.

我在处理同事发给我的文件。

A: 旅行に行く前に、その地方の風土や人情を知っておくべきです。

Qùlǚyóu zhīqíán, yào xiān liǎojiě fēngtǔ rénqíng.

去旅游之前，要先了解风土人情。

B: 分かりました。ネットで関連の文章を探してみます。

Hǎode, wǒ qù wǎngshàng zhǎo yī zhāo xiāngguān de wénzhāng.

好的，我去网上找一找相关的文章。

A: 中国語がうまいですね！

Nǐ de Zhōngwén zhēn hǎo!

你的中文真好！

B: ありがとうございます。HSK 6級に通ったばかりです。

Xièxie, wǒ gāng tōngguò le HSK liù jí.

谢谢，我刚通过了HSK六级。

A: 私の祖父は文房四宝が好きです。

Wǒ yéye xǐhuan shōucáng wénfáng sì bǎo.

我爷爷喜欢收藏文房四宝。

B: 本当ですか？ だったらおじいさんに湖筆（浙江省湖州産の筆）をプレゼントとして買ってあげたらどうですか。

Zhēnde ma? Nǐ kěyǐ gěi yéye mǎi yī zhī Húbǐ dàngzuò lǐwù.

真的吗？你可以给爷爷买一只湖笔当作礼物。



四字熟語

温文尔雅 wēnwén-ěryǎ

態度が穏やかで立ち振舞いが上品である

字源



甲骨文



金文



小篆



楷书

甲骨文字での形を見ると、“文”の字は立っている人に似ている。一番上は頭で、その下は左右に伸ばされた両腕、一番下は両足で、胸には模様が入っている。その後、胸にある模様が省略されて現在の形になっている。この形が表す意味も変わっている。この文字から中国古代の農業・建築・紡織・芸術などを知ることができる。

■ 良渚文化:玉に刻まれた物語

すべての古代史についてそうであるように、決して簡単な答えがあるわけではないにもかかわらず、中国の5000年の歴史をめぐる議論は大きな意味を持つ。しかし、現在この説を支持する有力な考古学論拠が杭州西北部の良渚で発見された。

良渚文化は5300-4300年前に存在した新石器時代の文明で、エジプトのファラオと同じ時期に長江下流域を支配した。良渚城跡はユネスコが認定する世界遺産であり、良渚文化全体の経済と政治の中心地とされている。古城遺跡では宮殿の土台、祭壇、水利工事と玉器が発見され、かなり複雑な社会であったことを示している。

主な文物は古城遺跡に隣接する良渚新城の良渚博物館に陳列されている。これらの文物は日常的に使われている陶器から祭祀で使われる玉製用品まである。数多くの玉器にユニークなマークが発見されたが、それが何を描いているかについては諸説ある。マスクだとか、神を表すとか、猛獣に乗った首領だとか。

真実はどうであろうと、専門家は皆このマークがリーダーが使うものにしか出てこないと考えている。

良渚文化はその後何が起こったのかまだ分からないが、その代表的な文化である玉器は社会的地位の重要な標識として、中国の歴史にずっと存在しており、今日でも貴重品の一つである。





■ 絹織物文化

杭州駅の出口に「半分西湖、半分絹」と書かれた広告がある。

杭州だけでなく、紹興や湖州など浙江の他の都市も、何世紀にもわたって絹織物生産の中心地として、観光客に対しても絹織物文化遺産を誇らしげにアピールしてきた。絹製品は、杭州のいたるところで販売されていて、チャイナシルクタウンでは卸売も小売りもしている。中国シルク博物館を見学すると、絹の歴史と文化を知ることができる。

浙江の絹織物の歴史は4200年前に遡ることができ、湖州城南の錢山漾遺跡から出土した絹織物がこれを証明し

ている。春秋時代(紀元前770年-紀元前476年)、今の紹興を中心とする越国は、養蚕を国家発展の政策とした。有名な越国美女の西施は、紹興諸暨の県にある村の近くの川で絹の洗濯を生業としていたそうである。

唐の時代(618-907年)には、多くの種類の浙江絹が献上品として朝廷に送られていた。「杭州の出品は、天下の冠となる」ということわざがあるように、杭州絹が一番人気なのかもしれない。

絹を買うにはまず絹が14の大分類に分類されていることを知らなければならない。例えば、最も一般的な絹は「シ



ルク」である。質は薄くて柔らかく、スカート、ブラウス、パジャマなどによく使われる。「サテン」はやや厚めで、通常は刺繍で装飾され、秋冬用のチャイナドレスに使用される。

杭州で一番有名な絹織物は「杭羅（ハンロ）」である。蚕糸で織られ、手法が精巧で複雑である。生地は軽くて通気性が良いことで有名である。夏のチャイナドレスの生地として最適である。

杭羅の歴史は少なくとも春秋時代まで遡ることができる。2009年には、中国の伝統的な蚕糸織技術がユネスコ無形文化遺産に登録された。もしあなたがこのような文化を家に持ち帰りたいなら、福興絹織場が生産する福興杭羅に注目すればよい。ここではずっと伝統的な織

り方を守りつつある。

絹染色も数千年以来の絹生産におけるもう一つの重要な側面である。もしあなたが絹の染色に興味があるなら、高級ブランド“萬事利”がお勧め。ここは最新の技術とファッションを絹染色に生かしているのである。

着用ではなく絹の装飾品をお望みなら、杭州の錦もきっと満足できるはず。この錦は愛国の紡績有力者である都錦生の名前から命名された。1920・30年代の杭州の絹織物業界で活躍し、「風景絹織絵」を発明した。現在、観光客は西湖西岸にある茅家堡村の都錦生の旧宅である錦織専門博物館で、彼の当時の作品を見ることができる。



■ 西施と勾踐：
美人と王

中国では、女性を西施にたとえることは、容姿の褒め言葉だと言われている。西施は中国古代の「四大美人」の一人として浙江に実在した女性がモデルであるといわれ、その美貌と不幸な愛が彼女を有名な悲劇のヒロインにしたのと同時に、並外れた美貌の代名詞となった。

施夷光は、春秋末期(紀元前770-紀元前476年)越国の苧蘿村(今諸暨県)に生まれた。彼女は「西施」または「西子」という名前で知られているが、それは彼女が住んでいる村が地元の最も西側にあったからである。彼女の魅力は、歴史上数多くの文学作品の中で称賛されてきた。彼女が水際に絹を洗濯すると、その美貌が、魚が川の底に隠れるほど恥ずかしくさせるという。その後、彼女の非凡な美貌は、伝説的な美を意味する四字熟語の上半分と結びついて、「沈魚落雁」となった。

西施について人々が覚えているのは、何十年にもわたって続いた越国と隣国の呉国の覇権争いの中で果たした役割である。紀元前494年、越王(勾踐)は、呉王(夫差)に敗れたが、賄賂を受け取った呉国の大臣の協力を得て和解した。3年後

に夫差の信頼を得て、勾踐は国に戻された。そして復讐のために若い女を選んで、音楽とダンスの訓練をし、夫差の元に送り、彼を惑わせた。この女が西施であった。この「ハニートラップ」は功を奏した。西施の魅力に取りつかれた夫差は、政務を疎かにし、西施のために宮殿の建設やその他の娯楽に金をつぎ込んだ。

一方、勾踐は人材を招くことを計画し、国造りをした。わらの上で眠り、毎朝部屋にぶら下げた苦い胆を嘗めて、自分が受けた苦痛の屈辱を思い起こさせたという。これが「臥薪嘗胆」という言葉の由来で、恥を忍んで重責を負い、発奮するという意味である。紀元前473年、勾踐は最終的に呉国を滅ぼし、春秋時代の最後の覇者となった。

しかし、呉国が滅亡した後、西施の人生はなぞになった。多くの人は恋人である越国の大臣の範蠡と幸福な隠居生活を送ったと思っているが、西施は越人または越王本人に溺死させられたとの伝説もある。彼らは、呉国のように西施の美貌が国を滅ぼすことを恐れたのである。

■ 紹興:文学水郷

353年の晩春、日当たりもよく、そよ風が吹く日、紹興西南山地郊外の蘭亭に40数人の詩人、学者、芸術家が集まった。彼らは川に沿って座り、酒飲みの遊びをしていた。それは酒杯を川に流し、酒杯が止まったら、その前の客はそれを拾って、飲んでから、詩を書かなければならない。このような遊びを「曲水の宴」という。

この日で37首の詩が生まれたが、この集まりを中国文学史上不朽のものとしたのは、詩集の序文だった。有名な書道家である王羲之はその場で324字を書き、集まりのシーンを描写し、おのれの命に対する情熱を表した。それを「蘭亭集序」と名付けた。完全無欠というわけではなく、実際にはいくつかの消されたり直されたりした字が含まれているが、その筆遣いは自然で流れのようである。書芸に秀で、その場でひらめき、完成したこの唯一無二の作品は、史上最高の行書作品とされる。

現在、観光客は蘭亭景勝地に行って当時の盛況を感じ受ることができる。蘭亭

景勝地は王羲之らの集まりの旧跡にある雅な園林で、周辺は竹林に囲まれていて、中には書道博物館、亭閣、池がある。紹興の古城地区には、路地、川、古い橋、灰瓦に白塼のある家が建ち並んでおり、筆飛横町、提扇橋など、王羲之にかかわるスポットをたくさん見学できる。

紹興は2500年以上の歴史を持つ、中国で最も古い都市の一つである。長い間、ここはずっと文化の中心の一つであ



り、数多くの文人、学者と社会活動家を輩出してきた。明代の学者、袁宏道は次のように述べた。「紹興出身の名士はフナの数よりも多い。」

20世紀の偉大な作家で、鋭い筆致と中国の「民族魂」を持つ魯迅は、魅力的な紹興の農村で生まれた。彼は自分の思い出を広く知らせる物語『社戯』に書いた。観光客は魯迅の旧居を訪れることもできる。観光地には魯迅が先祖代々から住んできた家、彼の幼年時代の花園、また短編小説の中で言及されている咸亨酒店、魯迅博物館などが含まれてい

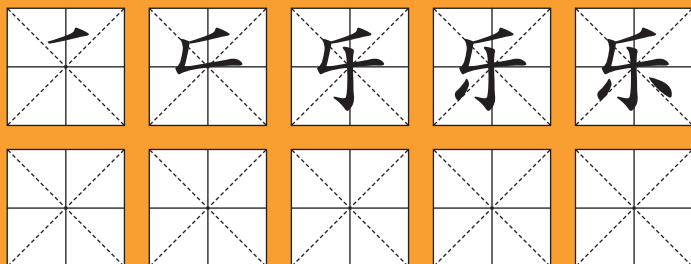
る。女性の権利活動の先駆者で詩人の秋瑾と教育家の蔡元培の生家も紹興で一般公開され、これらの先駆者の生涯と国家の革命歴史を人々に伝えている。

ロマン主義者にとって、紹興は失われた「江南」、即ち長江以南を代表している。正確に言えば、江南は中国の詩歌の中に存在する想像の世界であり、杏花、春の雨、石橋、水路と繋がっている世界である。古い石橋、烏帆船、香りのいい紹興酒など、紹興は江南に対するすべてのイメージを満たしている。



5 乐

yuè / lè
樂



単語

音乐	yīnyuè	音楽
民乐	mínyuè	民間音楽
乐曲	yuèqǔ	楽曲
乐器	yuèqì	楽器
欢乐	huānlè	楽しさ
乐趣	lèqù	楽しみ
乐观	lèguān	楽観的
娱乐	yúlè	娯楽

会話

A: どんなジャンルの音楽が好きですか?

Nǐ xǐhuan nǎzhǒng lèixíng de yīnyuè?

你喜欢哪种类型的音乐?

B: 民間音楽とクラシックが好きです。

Wǒ xǐhuan mínhuà hé gǔdiǎn yīnyuè.

我喜欢民乐和古典音乐。

A: 雨が降ってきた。ホテルに帰れなくなったよ、どうしよう?

Xiàyǔ le, zánmen huí bù liǎo bīnguǎn zěnmē bàn?

下雨了，咱们回不了宾馆怎么办?

B: 樂觀的に考えて、もしかするとすぐ止むかもしれないよ!

Lèguān yì diǎn, shuō bú dīng yíhuìr yǔ jiù tíng le ne!

乐观一点，说不定一会儿雨就停了呢!

A: まだ家に帰りたいの?

Nǐ xiànzài hái xiǎng huíjiā ma?

你现在还想回家吗?

B: いいえ、楽しさのあまり帰るのを忘れてしまったよ。

Wǒ yǐjīng lèbùsīshǔ le.

我已经乐不思蜀了。

A: 最近、毎日食べたり、飲んだり、遊んだりばかりしてるから、そろそろ運動した方がいいんじゃないか?

Zánmen zuìjìn zhěngtiān chīhē wánlè, shì bú shì gāi yùndòng le?

咱们最近整天吃喝玩乐，是不是该运动了?

B: ホテルにジムがあるから、ランニングに行こう!

Jiǔdiàn yǒu jiànshēnfáng, qù pǎobù ba!

酒店有健身房，去跑步吧!



四字熟語

乐不思蜀 lèbùsīshǔ

楽しさのあまり帰るのを忘れる

字源



甲骨文



金文



小篆



楷書

“乐”の字は甲骨文では形と意味の両方を表している。下部は弦楽器本体で、上部は絹糸で作られた弦であり、本来は弦楽器の一つであることを表している。音楽は人を喜ばせるため、その後“楽（ガク、中国語ではyuè四声）”は、喜びを表す“楽（ラク、中国語ではlè四声）”に変わっていった。人生は順風満帆ではない。挫折した時は音楽を聞いたり、旅行に出かけたりすれば、リラックスできる。リラックスしたい時は浙江省へ来て楽しんでください。

■ 浙江グルメ

中国の他の地域の料理は辛くてスパイシーなど濃い味をしているが、浙江料理は新鮮な味で際立っている。浙江料理は中国の伝統的な八大料理の一つである。食材の品質や新鮮さを重視し、自然な風味と触感を尊重して調理している。

浙江は、古くから“魚米の里”という美称がある。肥えた沖積平野で、緑豊かな丘と数千里に及ぶ海岸線は、生物の多様性を育んできた。「山の幸、川の幸、海の幸」はすべて浙江料理の重要な食材である。

浙江料理はいくつかの地方料理に分かれている。寧波料理は海鮮料理が得意で、紹興料理は、香りのある紹興酒で味付けされることが多く、温州料理は、新鮮な魚介類と繊細な味付けで知られている。省都である杭州市の杭州料理は、煮込みや蒸し焼きなどの料理手法で調理されていて、あっさり系の口には非常に合う。

12世紀から、長江デルタ（上海と江蘇省南部、浙江省北部を含む、長江河口の三角州を中心とした地域）に、著名な儒学者や皇族・貴族が集まり、中国文化の中心となり始めた。彼らは上品なセンスを現地に持ち込んできた。蘇軾、李漁、林洪、袁枚ら学者たちが中国で最初の料理評論家になり、彼らは浙江省の料理を味わっていた。天然の風味や食感を詳しく研究し、抑えられた味付けの手法や自然な見せ方に大きな称賛を寄せ、非人道的な

養殖のやり方を拒否していた。

蘇東坡とトンポーロー

蘇軾は、11世紀の有名な詩人であり、黄州（湖北省）に左遷された時、その土地に東坡と名付け、自ら「東坡居士」と名乗ったことから、蘇東坡と呼ばれるようになった。また彼は「トンポーロー」の発明者として知られている。それは、大きな豚バラ肉をとろ火でじっくり煮込んで、醤油と砂糖と紹興酒で味付けした料理である。グルメの蘇東坡は「とろ火にかけて少しの水で煮込めば、火がとおって美味しくなる」と豚肉料理の詩も書いた。だが、蘇東坡は出獄（湖州知州時代に作った詩文が反政府的であるとの理由で投獄され、詮議を受けていた）したのち、肉を食べるのをやめた。





凡庸な料理人に注意

袁枚の『随園食單』はおそらく古代の料理本の中で最も広く読まれているものである。彼が美食の大敵について語る時、ずばり「あの凡庸な料理人」と評した。

「それぞれの食べ物には独自の風味があり、異なる風味を混ぜ合わせることをしてはいけない。凡庸な料理人が、鶏肉、鴨肉、豚肉、ガチョウの肉を同じ鍋に入れて煮込んでいることに気づいたが……これらの動物がそれに気づけば、この料理人に地獄の罰を受けるよう

求めることになりそうだ。」袁枚が「凡庸な料理人の手元にはいつもラードがあり、ひと皿作るたびにスプーンを振りかざし、ラードを加えて油っぽくしている」と書いた。

袁枚の心の中の珍味のうち、最も重要なのはバランスをとることであり、これは今日でも多くの浙江料理が受け継いでいる原則である。「食感が豊富で香り豊かなはずなのに、油っぽくない。新鮮で自然だけど、風味豊か。」

浙江名菜五種

龍井海老

この料理は清の乾隆皇帝が発明したと言われて
いる。新しく摘まれた龍
井の茶葉を新鮮な川エビ
と一緒に炒める。一見シ
ンプルな夏の料理だが、青
白いエビの身と青々とし
た茶葉がよだれを誘う。

西湖酢魚

草魚のすがすがしい香
りと杭州名物の甘酢がマ
ッチした一品である。この
料理は、少量の紹興酒に
加え、おろし生姜、醤油、
酢、砂糖で味を調え、コ
クのある味わいになって
いる。

叫化鶏(別名:乞食鶏)

由来は、泥棒が鶏を盗
んでたき火で焼いていた
時に、追っ手が来たので
土を被せて逃げ、翌日土を
掘ると香ばしい味は甚だ
よろしかったと言われて
いる。今ではこの料理は
浙江名物になっている。蓮
の葉で包んだ鶏を少しの紹

興酒で味付けしたもので、
通常、シイタケのようなお
いしい具材を入れること
もあり、その後黄色い土を
つけて焼いたものである。

金華ハム

浙江省中部に位置する
金華は有名な金華ハムの
産地である。伝統的には、
約半年間飼育した金華豚
の後ろ足腿肉を、冬の気
温が摂氏10度以下に下が
った時に海塩天然塩に漬
ける。最高級のコハムを
脂肪の部分を上にして短
冊状に切る「排南」とい
う定番料理がある。この
料理は、砂糖と紹興

酒で作ったソースをかけ、
蒸したものである。

粕焼き筍

これは典型的な精進料
理で、新鮮なタケノコを
粕で煮込んだものである。
粕は米酒を蒸留し発酵さ
せたあとの残り粕で香り
のいいものである。料理
人の好みに合わせて他の
野菜(または肉)を加える
こともできるが、タケノコ
だけでもよい。通常はご
ま油で和えている。



■ 龍井伝説

毎年春、3月下旬、杭州の西湖地区の鬱蒼とした山腹はにぎやかになる。麦わら帽子をかぶった農民が茶畑を埋め尽くしているのは、もっとも貴重な龍井茶を清明節のわずか2週間前に摘み取らなければならないからである。西湖龍井、あるいは「龍井茶」は中国の最も良い緑茶の一つとされ、扁平で真っ直ぐ尖っている葉に、程よい渋みとコクのある甘み、巧みで精巧な伝統の製茶技術で世

界中にも名を馳せている。

熟練の茶摘み職人が1日摘み取った分を加工したら、500グラムにしかならないというのも龍井茶の高値の理由の一つである。たっぷりの雨、湿った空気、穏やかな気候、豊かな土壌と丘陵地帯がお茶の栽培にとっても適した地域にしてくれる。1500年前、すでにここでお茶の栽培が始まっていた。

中国茶葉博物館の双峰館は杭州市双



峰村に位置し、ここは茶の知識を理解する絶好の場所である。双峰村はこの地域の主なお茶の生産村の一つで、博物館は茶園に囲まれている。地元では、ほとんどの家庭で茶葉の販売が行われており、庭で中華鍋を使って茶葉を炒める茶職人の様子が見られる。

龍井寺は、西湖の南西の龍井村にある寺で、その中には龍井という井戸がある。ここがその龍井伝説の発祥地である。杭州はかつてひどい干ばつを経験したと伝えられているが、この井戸は枯渇したことがない。地元の人たち

は、井戸には龍が住んでいたと考え、「龍井」という名前がついた。獅峰龍井は西湖龍井の中で最も貴重な物であるが、龍井村では生粋の獅峰龍井を飲んでみることができる。もしあなたが正真正銘の龍井茶を手に入れたいなら、また直接茶園を訪れても構わないなら、地元の農家でお茶を買ってもいい。梅家塢、龍井村などいくつかの大型の茶産地では、茶園を見学し、茶の焙煎過程を見て、新鮮な龍井茶を持ち帰ることができる。





浙江名茶五種

大仏龍井

浙江南東部新昌県に霧が立ちこめた高地で育てられる。龍井茶より少し早めに摘むが、製法はほぼ同じ。蘭の香りが長持ちすることで有名である。

開化龍頂

浙江北西部の開化県に生育している。お茶が沸くと、緑色の茶葉がカップに立ち、「杯中の森」と呼ばれる。柔らかな香りをしており、甘くて爽やかな味がある。

恵明茶

浙江省西南部の景寧シエ族自治県の特産品であり、1915年にサンフランシスコで開催されたパナマ万国博覧会で金メダルを獲得したことがある。少数民族のシエ族は、9世紀から地元で茶葉の栽培を始めていた。

安吉白茶

緑茶とは異なり、白茶は炒めたりせず、自然乾燥と弱火にかけての乾燥

と最小限の工程で加工する。安吉県産の白茶はアミノ酸が豊富で、緑茶のような苦味はない。

松陽銀猴

浙江省西南部の松陽県で育てられたこのお茶は加工後、葉が反り、猿の足のような形をしており、銀白色をしている。緑茶と白茶の2種類がある。「茶中の珠玉」と呼ばれ、中国茶事大会で、何回も賞を獲得した。

■ 伝統芸能：越劇

清王朝の末期に、浙江省盛興の農民たちは「小歌班」という新たなパフォーマンスを作り上げ、変わった事件や長く伝わる伝説などを方言で歌った。

20世紀の初めには小歌班が上海に広まって、越劇はここから生まれた。内容は京劇に比べて通俗的で娯楽性が強い。正式版の小歌班としての越劇は、他の戯曲の伝統を吸収し、入念なセット、衣装と音楽のアレンジを使用している。

この時代には、この芸術の形に「女性」という重要な要素が追加された。上海の女性主義の影響を受け、女性が演じるロマンチックな物語と柔らかいメロディーは多くの観客を引きつけた。そして越劇は、女性主導の芸術形式になった。今では、越劇の男性の主人公は女優が演じていることが多い。

越劇の役者と友達になって、きれいな衣装を買ってあげることは、上海の上流階級の女性たちの間で流行した。全国各地の芸術家が越劇の脚本を書いており、中でも有名なのは『梁山伯と祝英台』『西廂記』『桃花扇』である。

『梁山伯（りょうざんぱく）と祝英台（しゅくえいだい）』

中国で最も有名な民間伝説の一つであり、愛情と勉強に関する故事で、中国

版の『ロミオとジュリエット』と評判されている。この物語は1700年近く続き、数々の映画や演劇、オペラ、そして協奏曲まで生んだ。この話をもとにした越劇は、20世紀30年代に浙江省を背景に作られたが、最も有名なバージョンは1953年に映画化された。

裕福な家に育った祝英台は明代から杭州南東部にある有名な学府の万松書院に入った。

この男性専用の領地に入るために、英台は男装して家を出た。遊学先で同期の梁山伯と出会い、二人は意気投合して義兄弟の契りを交わしていた。3年間の学習の間に、英台はひそかに梁山伯を愛していたが、突然家に連れ戻された。別れ際に英台は山伯と離れがたく、自分そっくりの妹（要するに自分）と結婚させたいから必ず訪ねてほしいと言っていた。

数ヶ月後、山伯は英台の家を訪ね、そこではじめて英台が女だと気づいた。二人は互いへの愛を語り、将来を誓い合った。しかし、実は山伯が訪れる直前、英台の親はすでに他の結婚相手を決めてしまっていた。婚約相手は富豪の馬氏。とても寒門出の山伯のかなう相手ではなかった。山伯は傷心のあまり、病気になって死んでしまった。



英台は結婚式当日、花嫁行列の途中で山伯のお墓参りをする事を条件に結婚に応じたが、行列が墓のそばに來ると、突然嵐が起こって前に進めなくなった。そこで英台は輿の中から出てお墓の前に出ていき、哀悼の意を表すと、突然お墓のあたりに大きな裂け目のできたので、英台は躊躇なくその裂け目に身を投げた。すると2匹のチョウが出てきてひらひらと飛んでいき、二度と離れることはなかった。

『西廂記』(せいしょうき・せいそうき)

元曲作家の王実甫(おうじっぽ)のラブコメ。秘密の恋を描いたため、清の朝廷に禁じられた。これは、旅の書生の張生と亡き宰相の令嬢の崔鶯鶯が身分を

超えた恋愛物語である。封建礼教と自由恋愛の抗争をテーマとして、元曲中最高の傑作と言われる。

『桃花扇』(とうかせん)

清の劇作家・孔尚任(こうしょうじん)によるこの恋物語は、明王朝の滅亡を背景に、若い知識人の侯方域と妓女 of 李香君の愛の悲劇を描いたものである。彼らは愛の象徴として扇子を交換したが、侯方域が仕方なく混乱と腐敗を繰り返した朝廷から逃れ、李香君は邪悪な官吏に結婚させられた。劇名は、李香君の血に点々と染まった扇に、友人が筆を加えて桃花の図とする劇中の一挿話による。

紹劇と婺（ブ）劇

紹劇は浙江三大劇種の一つで、越劇、婺劇と同じく300年余りの歴史を持ち、400の演目がある。力強い音楽アクションシーンで知られ、50年代後半、すぐれた伝統を守りながら、新しい時代の演技意識を

取り入れて、古い紹劇に活力を漲らせた。1962年に映画化された『孫悟空三打白骨精』や『龍虎斗』などが有名な劇目である。

浙江の三大劇種のもう一つである婺劇は、金華戲とも呼ばれ、田舎舞台での演

出が起源である。京劇に比べて役者の化粧は黄色っぽく、曲芸の腕前が有名である。有名な演目の『断橋』は、『白蛇伝』（はくじゃでん）をモデルにした作品で、劇中での俳優の「蛇行」が真に迫っている。



图书在版编目(CIP)数据

游学浙江:日文/《汉语世界》编辑部编著;王琳晓译.--北京:商务印书馆国际有限公司,2021.1
(“游学浙江”多语种系列)
ISBN 978-7-5176-0808-0

I. ①游… II. ①汉… ②王… III. ①浙江—概况—日文 IV. ① K925.5

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2020) 第 259502 号

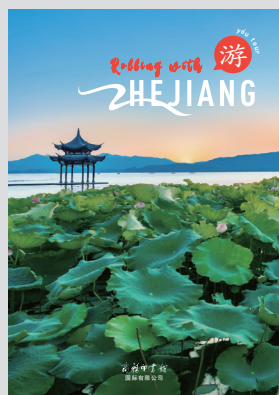
浙江游学 游学浙江

编 著	《汉语世界》编辑部
翻 译	王琳晓
出版发行	商务印书馆国际有限公司
地 址	北京市朝阳区吉庆里 14 号楼 佳汇国际中心 A 座 12 层
邮 编	100020
电 话	010-65592876 (编校部) 010-65598498 (市场营销部)
网 址	www.cpi1993.com
印 刷	鑫艺佳利(天津)印刷有限公司
开 本	880mm×1230mm 1/32
字 数	50 千字
印 张	1.625
版 次	2021 年 1 月第 1 版第 1 次印刷
书 号	ISBN 978-7-5176-0808-0
定 价	15.00 元

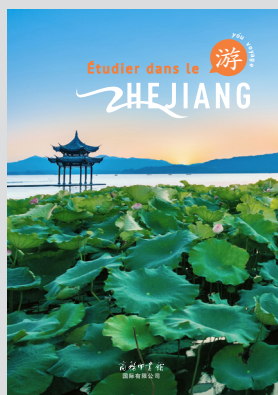
版权所有·违者必究

如有印装质量问题,请与我公司联系调换。

浙江游学



英語



フランス語



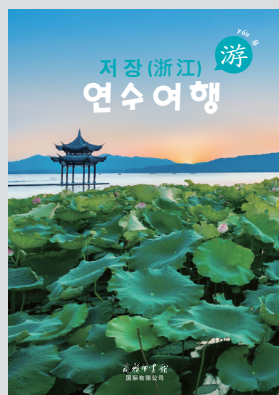
ドイツ語



ロシア語



日本語



韓国語



絵画のような風景を持つ浙江省は古典的な水墨画のインスピレーションを刺激し、世界最大のeコマース（電子商取引）プラットフォームも生み出しました。浙江の名声は永遠に変わることはないでしょう。中国で最も多様性と経済力に満ちあふれた省の一つであるため、訪問、ビジネス、留学をしたりする人にとっては一番目の目的地としてピッタリです。

本書では杭州の有名な西湖から、5G技術の世界的リーダーとなった古い運河の街である烏鎮まで、浙江省の折衷的な魅力について深く掘り下げています。また、実用的な語学学習に必要な内容、慣用句や歴史的な知識が散りばめられています。みんな浙江に恋をすることでしょう。もちろん、あなたも。



ISBN 978-7-5176-0808-0



定价： 15.00元